

安原地区 **歴史研究会だより**

まつもと文化遺産 「松本城下北の要武家のまちと商家のまち」

安原地区は、松本城下の北部にあたり、和泉町から安原町と続く町人地とその周囲に広がる武家地と明治以降拡大した市街地とで構成され、城下町の北の口にあたるということから一里塚があり、さらには城下町の建設にあたった石川氏が城下の入り口に設けたという、**十王堂跡地**や石川氏が崇拜したという**天白社**もあり、その後水野氏に拡大した、**天白丁・中ノ丁・東ノ丁**といった武家地もあって、松本城下の成立とその後の拡大の様子を見ることができます。

歴史研究会は**県宝「橋倉家住宅」**で旭町小3年生、6年生の見学案内、清掃と整備「**木下尚江**」読書会を開催しました。**十王堂跡地**は清掃と「**松本十二薬師めぐり第四番札所**」であることがわかり講演会を開催しました。

御詠歌 あさゆうに となうるみだを たのみにて やすくたのしむ みくになるらん



天白丁で生まれ育った**澤柳政太郎**と**木下尚江**がよく遊んだ「**天白神社**」は、文禄2~3年(1593~4)石川数正、康長父子が松本城天守築城し、鬼門の方位の位置に天白道場を開き、鎮守神として岡崎から八幡社(宇佐八幡)・稲荷社(伏見稲荷)を勧請しました。安原東西士族の氏神で、**天白丁・中ノ丁・東ノ丁・下町、下々町(両下町)**は、寛永19年(1,642)命名され、**萩町、籾町、西町、堂町、口張・同心町**の9町会の奉賛会で保存し、毎年9月に例大祭を開催しています。

享保12年(1725) 戸田光慈(みつちか)の頃に、武家地となり、足軽・徒士の屋敷が並びました



記念石碑 (神社境内の東奥)

いきいき自由教育 澤柳政太郎(まさたろう) 慶応元年(1865)

大正12年(1923)天白両社社務所新築時の**記念石碑**に、気品ある堂々とした書体で「**崇敬万古**」(すうけいばんこ)と刻まれています。腕白少年だった政太郎は、子供が何をしても神罰を当てない天白様の慈愛を揮毫(きごう)しました。

開智学校に学び、東大。 文部官僚になり、文部次官に栄進。 義務教育 4 年を 6 年に延長し、東北大学初代学長時には男女共学を、京都大学学長では、総長選挙制度と教授の定年制を実施しました。大正 6 年(1917) 私立**成城小学校**を設立、新しい教育を実践し、 **真(まこと)・善(よいこと)・美(うつくしいこと)**を理想としました。

長野県第 7 高等学校期成会、教育調査会委員として**松高誘致**に尽力、大正 8 年 9 高として **松本高等学校**は開校しました。

人権・民主主義・平和の人 木下尚江(なおえ) 明治 2 年(1869)

明治 9 年(1876)新築の **開智学校**で、金持ちの士族・町人の子と、尚江のような貧しい子と共に学んだからだの弱い尚江は、弱いもの貧しいもの味方になる気持ちを持ちました。 中学校の先生は、「**信濃の国**」の作詞者**浅井洌(れつ)**で、**天白丁**に住んだので私塾でも学びました。

英国の清教徒革命を起こしたクロムウェルを知って早稲田大学で法律を学び弁護士になり、明治 30 年(1897) に中村大八郎らと **普通選挙期成同盟会**を設立しました。

毎日新聞入社後 足尾鋳毒問題では幸徳秋水直訴文で明治天皇に直訴を試みた**田中正造**と親交を深くし、現地調査記事を連載しました。

明治 34 年(1901) **幸徳秋水**(明治 43 年大逆事件)と、社会主義政党**社会民主党**を結成しました。

明治 37 年(1904) 反戦小説「**火の柱**」、社会小説「**良人の自白**」を連載。

明治 39 年(1906) 37 歳の時に、社会主義運動 (**幸徳秋水**)から離れて「**懺悔**」・「**墓場**」刊行。

小説「**墓場**」は「**松本城下町十景**」に選出された**安原町の常法寺小路**一帯が舞台になって、入口は**善光寺街道の安原横丁**、散歩道を**両下町**にあった山伏の寺**常法寺跡地**を通過して北奥突き当たりを左折すると**尚江生誕地**がある。 小路の西にある**摂取院跡地**に「**世育(よそだて)稲荷社**」とそばに「**子育て地藏尊**」があります。 **安原町民**の皆さんで毎年 5 月に例大祭が開催されています。



木下尚江生家 (松本市島立)

尚江生家は 200 年前の江戸時代中期の建築で、大正 9 年(1920) 尚江から叔母にあたる澤柳せいさんに売り渡されている。 松本藩の下級武士の暮らしと文化を伝える屋敷で、昭和 58 年(1983) 島立「**松本市歴史の里**」に移築保存された。

言論・思想の自由が大切。 ひとりひとりが人として大事にされるべき。 戦争はよくないし暴力もいけない。

幸福は学問・権力・富・名誉ではない。 一個の良人たれ。

病中吟 何一つ もたで行くこそ 故さとの 無為の国への みやげなるらし (自然)